

浜松市における 気候変動適応への取組について

令和2年2月14日



出世大名
家康くん

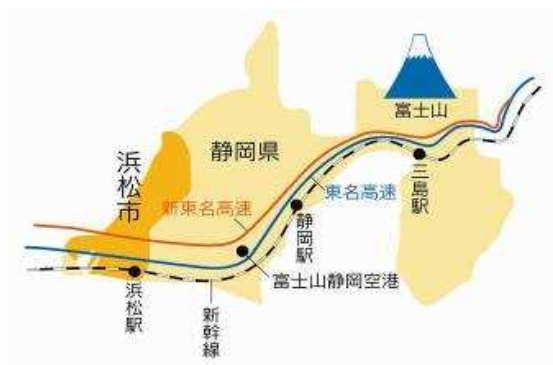
出世法師
直虎ちゃん

©浜松市



環境部 環境政策課

浜松市の概要



★ 人口
802,527人

★ 面積
1,558.06 km²

取組の経緯

年月日	内 容	参照
2017年4月	浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に適応策を掲載	①
2017年7月・9月	「気候変動の浜松学」ワークショップ 開催	②
2018年12月	庁内照会：気候変動の影響を受ける業務を所管する課の調査	
2019年2月	第1回目「気候変動適応策」研修会 開催	③
2019年11月	庁内照会：気候変動の影響及び適応策の調査	④
2020年1月	第2回目「気候変動適応策」研修会 開催	③

3

①

浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に 適応策を掲載

2017年4月に改定した区域施策編に、分野ごとの気候変動の影響及び適応策を掲載

- 農林水産業
(農業、森林・林業、水産業)
- 水資源
- 自然災害
- 健康面
(暑熱、感染症)
- 生態系

(1) 農業分野

影響
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲の白未熟粒など品質の低下 ・ 果樹品種の品質低下 ・ 露地野菜、施設野菜の生育障害 ・ 畜産動物へのストレス増加に伴う生産高の低下 ・ 病害虫や動物感染症の発生増加及び分布域の拡大
市の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県農業戦略課からの「高温注意報」及び「病害虫予察情報」などにより高温障害や病虫害の発生に関する情報を収集する ・ 認定農業者協議会においてそれらに対応するための情報交換などを行う

(2) 森林・林業分野

影響
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山地災害発生件数の増加 ・ 人工林の生育不良 ・ 天然林の分布適域の変化 ・ 森林病害虫のまん延
市の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の有する水源のかん養、災害の防備などの公益機能を高度に発揮させるため、保安林の整備を計画的に推進する ・ 治山施設の整備や森林の整備などを推進し、山地災害を防止する。これにより被害を最小限にとどめ、地域の安全性の向上を図る

4

②

『気候変動の浜松学』ワークショップ 開催

市民が感じている気候変動の影響を洗い出し、その適応策を考えることで、適応策を身近に感じてもらうためのワークショップを2回開催

講師・・・白井信雄 法政大学教授(現:山陽学園大学教授)
静岡地方気象台調査官

参加者・・・約50人

- ・市職員(区域施策編関係課)
- ・市議会議員
- ・市地球温暖化防止活動推進員
- ・市環境学習指導者

5

③

『気候変動適応策』研修会 開催



(2019年2月)

【内容・目的】

気候変動適応法、気候変動適応計画及び静岡県気候変動適応計画の内容を学び、各課業務に適応策が関連していることを理解してもらう。



(2020年1月)

【内容・目的】

各自治体及び各企業の適応策の事例を紹介することによって適応策の考え方を学び、各課業務において適応策を検討する際のヒントとしてもらう。

6

気候変動の影響及び適応策の調査

各課業務における気候変動の影響と適応策の取組状況の把握調査

(調査例)

課名	影響		対策	
	保健環境 研究所	既に 発生	シカやイノシシ等野生動物の生息域拡大により、日本紅斑熱やSFTS等マダニ媒介性感染症の増加	対応 中

今後の取組

【地域気候変動適応計画の策定】

令和2年度に見直しを行う区域施策編のなかに、適応計画を位置付け予定

【地域気候変動適応センターの確保】

設置については未定

【静岡県気候変動適応センターとの協働】

令和2年度に、県センターと協働で、小中学校で温度等を計測する調査を行う予定

【庁内各課における適応策の推進】

各課の理解促進・連携強化として、職員向けの研修会を毎年度開催する予定